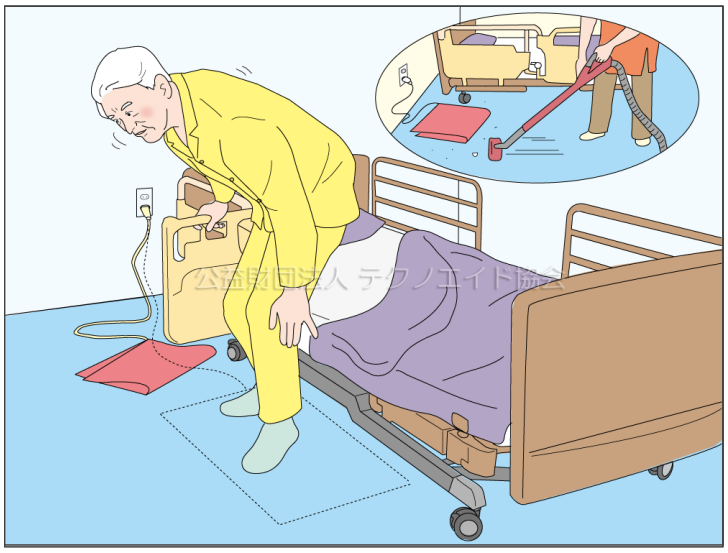
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：358

離床を感知できず、自力移乗で転倒しそうになった

場面の説明

センサーマットが定位置になかったため、離床を感知できず、介助レベルの利用者が自力で移乗し転倒しそうになる



利用シーン	移乗
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	認知症徘徊感知機器
分類コード (CCTA95)	215190 (徘徊老人監視システム)
介護テクノロジー	見守り・コミュ（在宅）
二次元バーコード	

解説

コールボタンで介護職員を呼ぶことができないため、センサーマットで離床確認をしていました。誰かがセンサーマットを動かしたため、定位置になく、離床を感知できず、介助レベルの利用者が自力で移乗し転倒しそうになりました。
定期的にセンサーマットの設置状況の確認が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：利用者がコールボタンで介護職員を呼べなかった
モノ：誰かがセンサーマットを移動し、戻し忘れていた
管理：センサーマットの設置状況の確認が必要

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.